

■第51章

- 1) ガイド・トーン(Guide tone/限定進行音)
 - 2) スプレッド(Spread)
 - 2-1) II m7-V7-I
 - 2-2) II m7(♭5)-V7-I m
-

1) ガイド・トーン(Guide tone/限定進行音)

コードの「3rd」と「7th」の音の事を「ガイド・トーン」(guide tone/限定進行音)と呼ぶ場合があります。次の「II m7-V7-I」のコード進では、それぞれの「3rd」と「7th」が隣接し、滑らかに連結しています。これら「3rd」と「7th」はコードの種類や調性を決める役割を持っています。

example 51-1

The musical notation shows three measures on a grand staff. The first measure is Dm7, the second is G7, and the third is CM7. The treble clef part shows the 7th of Dm7 (C) moving to the 3rd of G7 (B), and the 3rd of Dm7 (F) moving to the 7th of G7 (F). The bass clef part shows the root of Dm7 (D) moving to the root of G7 (G), and the root of CM7 (C) moving to the root of CM7 (C).

ガイド・トーンを連結させる事で、ハーモニーの骨格を作る事ができます。このように各声部が隣接した音へ進む事を「ヴォイス・リーディング」(voice leading)と言います。

ガイド・トーンの特徴は「3rd」と「7th」が入れ替わりながら進行している点です。

「Dm7」の「7th」(C音)は「G7」の「3rd」(B音)へ進み、「Dm7」の「3rd」(F音)は「G7」の「7th」(F音)へ進んでいます。